

姫路市民スポーツフォーラム パネルディスカッション出演者プロフィール

【コーディネーター】

荒木 大輔 氏 /兵庫県立リハビリテーション中央病院 スポーツ医学診療センター長

秋田大学医学部医学科を卒業後、神戸大学大学院医学系研究科を終了。その後、米国ピッツバーグ大学や神戸大学医学部附属病院の整形外科でキャリアを積み、現在は兵庫県立リハビリテーション中央病院のスポーツ医学診療センター長として、スポーツや事故等で大怪我を負った人などの治療に全身全霊をささげている。

【パネリスト】

黒田 良祐 氏 /神戸大学大学院医学研究科外科系講座整形外科教授・神戸大学附属病院副病院長

神戸大学医学部を卒業と同時に、整形外科医としてキャリアをはじめ、その後、米国クリーブランドクリニック、ピッツバーグ大学でスポーツ医学や再生医療を学び、神戸大学大学院講師などを経て現職。幅広い整形外科治療の領域において、アスリートに対してスポーツ医学に基づいた治療を行うことも整形外科医の重要な役割という考えのもと、多くのアスリートをスポーツ損傷から復帰に導き、トップスポーツチームのチームドクターも務めるなど、スポーツ医学において日本をリードする存在である。

伊達 公子 /テニスプレーヤー

1970年、京都府生まれ。テニス四大大会の全豪、全仏、全英オープンでベスト4入りし、WTA ランキング最高位は4位。26歳の時に一度現役を引退するが、37歳で現役復帰し、様々な世界大会で活躍。2017年に2度目の引退をし、その後、早稲田大学大学院スポーツ科学研究科1年間の修士課程を修了。現在は、テニス解説やジュニア育成、テニスコート&スポーツスタジオ等のプロデュースなど、多方面で活躍中。

有方 大介 /パラバレーボール(座位)女子日本代表専任スポーツトレーナー

バレーボールVリーグの堺ブレイザーズ、久光製薬(現 久光)スプリングス、上尾(現 埼玉上尾)メディックス、デンソーエアリービーズというトップチームのトレーナーを歴任後、姫路市を練習拠点とするパラバレーボール(座位)女子日本代表スタッフとして、東京2020パラリンピック競技大会にも帯同。日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー、日本パラスポーツ協会公認障がい者スポーツトレーナー、鍼灸師の資格を持つ。

柴田 洋平 /神戸大学医学部附属病 リハビリテーション部 理学療法士

神戸大学医学部保健学科で理学療法を専攻するとともに、在学中は同大学体育会アメリカンフットボール部のトレーナーも務める。大学卒業と同時に神戸大学医学部附属病院リハビリテーション部の理学療法士として勤務し現在に至る。関係学会・団体として、(公財)日本理学療法士会や(一財)日本スポーツ理学療法学会、(一財)日本運動器理学療法学会、(一財)日本臨床スポーツ医学会に所属。

清元 秀泰 /医師・姫路市長

平成31年4月に姫路市長に就任。中学生時代からバレーボールに取り組んだ他、大学生時代からはバドミントン、テニス、さらには、ウインドサーフィンやオフロードバイク、スキーを楽しむなど、「する」のも「観る」のも大好き。「観る」ならアメリカンフットボール、ラグビー、サッカー、野球など、何でも調べて人に解説するのが好きだが、家族に煙たがられている。